

# 協議会から報告です

## 神戸小学校 避難所運営を検討中



地震などの大きな災害が発生した時は「神戸小学校」が私達の避難所になります。災害はいつか必ずきます。その時に備えるための避難所運営検討を昨年度から進めています。今年度中に「神戸小学校避難所運営マニュアル」の初版を完成し令和3年度から正式な運用をスタートする予定です。避難所生活は避難者自らが主体となって運営していくこととなりますので、今後は仕組みを更に具体化し、必要な整備を整えながら避難所開設・運営の訓練を繰り返していざという場面で実際に動ける備えを目指していきます。地域の皆様をお願いしたいことは「避難所には行かなくてすむための備え」です。避難所は決して快適な環境ではありませんから出来る限り自宅を乗り切ることを目指してください。被災は他人事ではありません。防災への意識を高めて自分と家族を守りましょう。地域での防災活動へのご協力をお願いします。「防災活動への協力者・支援者募集中!!」



## 桜プロムナードの整備(地域づくり部会)

毎年行っている桜プロムナードの整備を今年度も地域づくり部会役員9名で実施いたしました。この桜は、平成4年に丸火自然公園を目的地とした神戸地区の歩け歩き大会開催に併せて、静岡県グリーンバンクから桜70本(ソメイヨシノ35本、ヤマザクラ35本)の提供を受け、丸火自然公園から旧常葉大学グラウンドまでの区間の林道沿いに有地に植栽したものです。春には林道沿いにアーチ状の桜並木が見られると思います。是非ご覧ください。



## まちづくり協議会とは?

今年度より神戸地区まちづくり協議会長に就任いたしました松山です。まちづくり協議会とは神戸1・神戸2・今宮町内会から代表者が集まり、神戸地区全体にかかる問題等を協議し、解決に導く会議の場であり、13名の役員と相談役で構成されています。また、会長、副会長以外の役員は各々、グランドゴルフ・大運動会・文化祭等を主催する「生涯学習推進部会」、カップスタッキング・夏祭り等を主催する「地域づくり推進部会」、交通安全・防犯活動・自主防災会を支援する「安心安全部会」、ホッともつ広場やふれあい訪問を主催する「福祉推進部会」の4部会の会長を兼務しています。また、今後まちづくり協議会では、地域の実情に合わせた、まちづくりセンターの運営方法も検討していくこととなります。我々も全力で取り組んでいきますので、地区の皆様のご協力をお願いいたします。

## 編集後記

「神戸まちづくりだより令和2年号」の編集には初めての試みとして地域有志による編集委員会を編成して誌面づくりを進めました。今後のまちづくり活動はいろいろな面で変わっていく必要がありますので、今回がその先駆けの一つとなれば幸いです。

編集委員長 渡辺 俊美 | 編集委員 鈴木 憲二  
編集委員 秋山 由美子 | 編集委員 勝又 真理子

## 令和2年度まちづくり協議会役員

会長	松山 直己	相談役	杉山 清春
副会長	山本 茂穂	副会長	渡辺 秀春
副会長兼部会長	渡辺 俊美	副会長	渡辺 綱秀
部会長	川口 悦治	部会長	鈴木 憲二
部会長	渡辺 廣行	会計	早川 省吾
監事	青木 敬三	監事	渡辺 光司

# 神戸 まちづくりだより



令和3年3月発行

神戸小PTA

## コロナ禍でも輝く神戸っ子!

### 子どもたちの笑顔がはじけた「スポーツフェスティバル」



令和2年10月3日

神戸大運動会は中止となりましたが、神戸小学校では10月3日に「スポーツフェスティバル」を実施しました。当日は晴天に恵まれ、1年生から6年生までを2学年ごとに分けて開催時間帯を変え、徒競走・リレー・パン取り競争の3種類の競技を開催しました。保護者は、保護者間で適切な間隔を取って応援。リレーでは飛沫を防ぐため、大きな声を出しての応援は送れないものの、自チームの走者をじっと見つめ、気持ちを抑え祈る子の姿勢に成長を感じました。パン取り競争では、隣レーンの友達と協調を図りながら精一杯楽しんでいる様子を見て、親としても心踊らされました。また、異動された先生方も駆けつけてくださり、子供たちの笑顔がより一層はじていました。



パン取り競争  
たのしかったよ!

### それぞれの目標に向かって走り続けた「持久走記録会」

令和2年11月20日

各々に期待と不安が入り混じる中、子供達は校長先生の笛を合図に学年ごとグラウンドを駆け巡りました。一人も諦めることなく全員が完走を果たしました。1位でも2位の子の手前平常心で体育座りをしている子、1位を目指していたが2位となり、うつむいて涙を流している子、最終ランナーであっても必死に走り続ける子、それぞれの目標に向かって努力してきた結果が表れた半日でしたが、保護者としてはたとえどんな結果であれ、走り続けた全ての神戸っ子に素直に拍手を送りたいと思いました。



最後まで  
がんばるぞ!

～昭和から令和へ～

# 懐かし 神戸写真



1976年から続く「子ども天国」



2019年に42回目の開催を迎えた「子ども天国」をご存じですか？毎年5月5日に神戸小学校で開催されています。発端は1976年に神戸地区青年団が、ゴールデンウィーク期間中にお茶摘み等で両親が忙しく外出出来ない子供たちのために、こどもの日には子供が主役のイベントを開催してあげたいとの思いから始まりました。当時は、竹馬・竹とんぼ・大縄跳び・ビー玉遊びで楽しませてあげていたようです。グラウンドに子牛・ヤギ等動物も呼んで盛り上げた年代もあったそうです。40年以上も続く神戸地区ならではの「子ども天国」。何十年も継続していく事は決して容易な事ではありません。しかし、親が子を思う気持ちはいつの時代も変わる事はありません。これからも永遠に神戸地区のイベントとして残していけたらと切に願います。

昭和



平成



## こどもが主役！神戸地区伝統芸能



### 荒神太鼓賑やかに【荒神太鼓保存会】

今年度は感染対策に注意しながらの練習を続けてきました。「子ども会」からの参加という試みが始まり、今までにない賑やかな雰囲気の中での活動となっています。荒神社のおまち祭典では無観客とはなりましたが、子ども会のメンバーを主体としての大鼓演奏も奉納できました。子ども会との連携が良い形で継続していくことにより、今まで以上に活動の場が広がればと期待しています。年齢、性別は問いませんので私達と一緒に大鼓をたいてみませんか、皆さんのご参加をお待ちしています。



### 雨乞いの儀式【雨乞い芸能保存会】

ぼくの住む神戸2丁目の曼陀羅祖師堂は、「おまんだらさん」と呼ばれ、地域の人に親しまれています。このお堂は、日蓮宗の開祖日蓮上人を祭るお堂です。

鎌倉時代のお話です。ある日、日蓮上人が神戸部落を通り分かったときのことです。このあたりは日照りがひどく、村人は大そう困っていました。みんなでいっしょにけんめい神様や仏様に祈りましたが、雨は降りそうもありません。この様子を見て日蓮上人は「さあ、みんなの衆、これをかけて祈りなされ」と「まんだら」を書いて差し出しました。村人たちは、これを桶へかけお題目を唱えたところ、一転におかにかき曇り、大粒の雨が降り出し、畑の作物がよみがえりました。この日が旧暦6月12日で、毎年その日にお祭りを行うことになりました。

現在は、言い伝えられている伝統を継承しようと毎年7月第3土曜日に神戸2丁目の人たちがお祭りをしています。お祭りのときは今でも法蔵寺に「まんだら」を迎えに行き、お堂に祭り、ご開帳が終わるとまた法蔵寺へ送り届けています。

ぼくはこのお祭りで披露している雨乞い太鼓をやっています。今年はコロナで一度も披露することがなく、とても残念でした。雨乞い芸能保存会は、神戸地区の歴史や文化を後世に伝えるための活動をしています。ぼくも雨乞い太鼓で上級生から教えてもらったことを下級生のお友だちに伝えていきたいと思っています。そして、雨の恵みに感謝して、雨乞い芸能保存会が未永く継承して行くことを願っています。



神戸小学校 6年  
鈴木 都夫 さん



### 今宮火祭り

今宮の火祭りの歴史は古く数百年前から続いて来たお祭りです。昭和40年頃一度消滅しましたが、平成5年に地域の青年団により復活・再開されました。火祭りは元々子供のお祭り、子供が自ら松明を作り、火をつけ、害虫駆除のために松明を8の字に回しながら自らの無病息災を祈り地域の畑を回ったのが始まりだと言われています。



僕が大鼓の練習で嬉しかったことは、地域の人達から教わり上達していたことです。今年はコロナの影さようでお祭りが中止になってしまい残念でしたが、今宮の伝統行事をこれから地域みんなで盛り上げていけるといいです。

神戸小学校 6年  
鈴木 勇汰朗 さん

